

大西 瑠菜

ONISHI Luna



あなたと

テラコッタ

あなたと

私の作品は社会全体に何かの訴えを問いかけたり、何かのアンチテーゼを表現している訳では無く、そういった作品に比べると私が制作している作品はすごくシンプルだろう。私が制作しているのは自分の顔を基にした彫刻である。作り始めたきっかけは祖父の死だった。祖父の死以来、私はこの作品の顔に取り憑かれたかのように絵を描き、それを彫刻に落とし込んできた。未だに何故このような顔をたくさん描いたのかは分からないが、昔から「これ！」となれば他に目が行かなくなるような性分であったし、その時はこの顔を作品に落とし込まねばならないという使命感や衝動に近いものに身を任せて制作していた。そして、その衝動は今でも続いており、生涯なくてはならない重要な感覚だと考えている。

いつか誰かがこの彫刻と対峙し、それが又誰かの衝動に繋がったならそれ以上のことは無いだろう。